

## 案件概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ヨルダン・ハシェミット王国
2. 案件名	特別活動の継続的实施と普及のための基盤整備事業
3. 事業の背景と必要性	ヨルダンは周辺国から難民、移民を受け入れ続けており、様々な背景を持つ個人々人を理解し、受け入れることのできる人材の育成は、より良い社会作りに不可欠である。そのような社会で通用する力を育むには、学校内の教育だけではなく、保護者や地域との協力のもと学びを深めることが重要であるが、学校と保護者の連携は進んでいない。教育省もコロナ禍の影響により、児童の学習の遅れに加え基本的な生活習慣や態度が崩れていることに対し危機感を抱いている。学習の遅れを理由として登校しなくなる児童に対する危惧も広がっている中、教育省と教育現場は学校と家庭、地域との協力の上で子どもたちの社会的成長を重視しているが、その取り組みは十分ではない。先行事業を通じ、特に社会性育成のためには低年齢からの指導が不可欠であることが明確になった。保護者との関係構築の経験に乏しい学校にとっては、特別活動がその一つの機会として活用できる。また、特別活動の自立的な発展のためには、先行事業で実践に関わった教育局職員及び教員が普及の担い手となり、学校に指導し、継続的にフォローできる人材をヨルダンの中で育成する必要がある。
4. プロジェクト目標	対象地域において、教育局及び教員ら特別活動インストラクターの養成、及び保護者の学校活動への参画機会の拡充により、特別活動普及と継続を可能とする基盤が整備される。
5. 対象地域	アンマン県、マフラック県（ザアタリ難民キャンプ含む）
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	教育局（アンマン2か所、マフラック1か所）、学校（アンマン28校、マフラック4校）、校長（アンマン28名、マフラック4名）、教師（アンマン728名、マフラック201名）、対象学校の児童（アンマン11984名、マフラック2508名）、保護者、コミュニティ
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p>&lt;アウトプット&gt;1. 研修やモニタリングを通じて、教員の実施する特別活動の質を担保し、学校を中心とした普及体制が整う。2. 保護者含む地域コミュニティが社会性を育む場としての学校の役割を認識し、子どもへのサポートを通じて学校での社会性育成の活動に参画するようになる。3. 教育省公教育課及び対象教育局が特別活動への理解を深め、普及に取り組む。</p> <p>&lt;活動&gt;1. 特別活動インストラクターの養成及びモニタリング能力強化（全9活動）2. 対象地の保護者の特別活動への参画（全9活動）3. 教育省公教育課及び教育局による特別活動普及（全5活動）</p>
8. 実施期間	2023年1月～2025年7月（2年6か月）
9. 事業費概算額	99,596千円
10. 現地カウンターパート	ヨルダン教育省
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人国境なき子どもたち
2. 活動内容	脆弱な立場にいる子どもたちが、地域社会の一員として尊厳ある人生を歩めるよう、教育や職業訓練の機会を提供。